

地球変動科学演習

担当教員：八木勇治（内線 8491）

ルールを定めて、本をみんなで読んでみる。

ルール：

1. 次の講義までにやること、Step 1~6 までの項目をまとめた予習ノートを作成する。予習ノートは全員作成すること！予習ノートは、演習後にチェックして、成績に反映します。
2. 発表担当者（各文章2名）を決めて、担当した部分を発表する。その後、予習ノートを使って、議論をする。発表担当者が理由なく欠席した場合は、単位獲得は極めて困難になります。

セミナーを楽しみ、セミナーによってワンステップ上に成長できるかどうかは、皆さんの準備次第です。

Step 1: 学習課題を読む・全体像の把握

- ① タイトルや見出しを参考に文章の大枠を理解する。
- ② 課題文章の全体像を理解できるまで繰り返し読む。

ポイント： 重要度を分けて線を引く。事実と意見を分ける。

Step 2: テクニカルタームを調べる。

- ① 言葉の意味を調べ、理解し、ノートに整理する。
- ② 言葉の意味を他人に説明できるようにする。
- ③ 話し合いで聞きたい質問をまとめる。

ポイント： 思い込みは禁物。学問は「コンセプトとコンセプトの戦い」。明確な概念の定義は「言葉の力」を強める。

Step 3: 主張の理解：著者の主張をまとめる

- ① 課題文章を精読する。
- ② 著者の主張を把握する。
- ③ 著者の主張を「自分の言葉」で簡潔にまとめる。課題文章からの抜き書きはしない。

ポイント： 著者の主張が妥当なのかどうかとも考えながら、チェックする。

Step 4: 話題をまとめる

- ① 学習課題に含まれる話題を見つける。
- ② 中心的な話題を選ぶ。
- ③ 話題毎に「自分の言葉」でノートにまとめる。

ポイント：参加者の興味を踏まえて、面白いと思えるポイントを見つけ出すこと。

Step 5: 知識の統合：他の知識との関連づけ

- ① 関連する知識を選択する。
- ② 課題文章と関連する知識の比較（類似点・相違点についてまとめる）

ポイント： 知識の統合は、調べ考えるという作業、どちらをサボってもダメ。

Step 6: 課題文章の評価

- ① 課題文章を多様な観点から批判的かつ建設的に評価する。（例：この主張はAの仮定の根拠が明確ではない。Aの仮定の根拠を示すためにBをする必要がある。）

ポイント： 教科書に書かれている内容は、論文に書かれている内容よりマシだが、必ずしも適切ではない議論が含まれている。「健全な批判精神」を心がけること。

Step 7: リハーサル

- ① ステップ毎に聞きたい質問を準備する。
- ② 予習ノートにまとめた内容を口頭で伝える練習をする。
- ③ ミーティングの書くステップでの発言と会話をイメージする。
- ④ 途中で準備不足が分かった時は予習を続ける。

ポイント： 共通の知識がないと、浅い議論になっておもしろくない。議論を楽しくする主役は学生！

Step 8: プレゼンファイルを作成する（担当者）

- ① Step 1~6 をふまえた上で、文章の内容をまとめ、分かりやすく人に説明するパワーポイントを作成する。

ポイント： 一つのページに一つのメッセージ、文字の装飾はしない。

スケジュール

	タイトル	発表者 1	発表者 2
5/26	3. 地殻は変動する		
6/2	10. 地震発生の複雑さの理解		
6/9	9. 強い揺れの生成メカニズム		
6/16	8. 地震波で震源を探る		
6/23	7. 実験室で震源を探る		